

人文書・歴史書 ご担当者 様

有志舎の新刊です。2017年5月下旬刊行

てん のう はか

天皇墓の政治民俗史

岩田重則 (いわた しげのり) 著 (中央大学総合政策学部教授、日本近代史・民俗学 専攻)
A5判・ハードカバー・540ページ 本体価格 3,400円
ISBN978-4-908672-12-5

近現代の神道的な天皇墓は本当に「日本の伝統」なのか？

(目次)

序 天皇墓の課題と比較史の方法

I 古代—火葬墓制の形成

1 仏教受容と火葬のはじまり / 2 浄土信仰のなかの仏教儀礼的火葬

II 中世—天皇の「西方極楽」往生(1)

1 仏教的火葬儀礼の形成 / 2 中世天皇墓からみた「両墓制」と民俗的火葬墓制 / 3 「両墓制」についての仮説 / 4 泉涌寺と深草法華堂

III 近世—天皇の「西方極楽」往生(2)

1 中世的秘儀の解体 / 2 火葬の停止と遺体槨納葬 / 3 武士墓の遺体槨納葬と庶民墓の遺体埋葬

IV 天皇墓の明治維新—神道式跪拜への転換

1 「玉体」の誕生 / 2 八角台形の孝明天皇墓 / 3 天皇墓の神仏分離と人格神の新造 / 4 「皇霊」祭祀の新造

V 近現代(1)—神葬祭の様式的完成

1 近現代皇族墓の新造 / 2 皇室制度調査局の天皇墓・皇族墓原案 / 3 明治天皇の遺体槨納葬

VI 近現代(2)—近現代天皇墓の完成

1 国葬令・皇室喪儀令・皇室陵墓令の制定 / 2 大正天皇墓の円形ドーム / 3 火葬による神葬祭

結—政治と民俗

～版元から～ 近現代の神道的な形式による天皇墓は、他の時代の天皇墓と比較して明らかに異質です。これは前近代の再編成なのでしょうか、それとも前近代との断絶なのでしょうか。本書は、文献資料はもちろん、考古資料・民俗資料をも利用し、さらには武士墓や庶民墓なども比較しながら、古代から近現代にかけての天皇墓の全体像を通史として叙述します。天皇墓の変遷をたどることにより、その変容の意味や政治と民俗との関係を考えます。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	天皇墓の政治民俗史 岩田重則 著 A5判・ハードカバー、540ページ 本体価格 3,400円	日本史 民俗学
	ご担当	新刊 ISBN978-4-908672-12-5 C1021	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様		

ご注文は 有志舎 担当：永滝（ナガタキ）まで FAX：03-5929-7352

当社商品の取扱取次はトーハン・JRC・八木書店ですが、日販・大阪屋ほか、いずれの取次でも上記取次経由で送品します。なお、JRCからも同じ注文書が重複して送られた場合は、この弊社あての注文書だけをご返信ください。

※なお、弊社は4月18日より事務所を移転しましたので、住所・電話番号・ファクス番号が変更になっています。ご注意願います。